

# 審議した主な議案

## 平成30年度一般会計 歳入歳出決算の認定について

決算の概要は1面に掲載しています。

### 賛成討論(要旨)

沖浦あつし(みらい)

生産年齢人口の減少を抑制し、市税歳入の確保、行財政改革、人材育成、基金積み増しと、地方債の返済が中長期的に大切である。本市では子どもの人口が今後5年で約2割増と多摩地域トップに、来年は平均年齢が44・1歳と多摩地域で一番若いまちになるとの東京都の人口推計があり、子育て世帯に選ばれているまちとして客観的評価を受けている。高齢者福祉へ更に注力できる持続可能な市政運営の好循環を生む基盤づくりの決算年度となっており、賛成する。

### 反対討論(要旨)

湯沢綾子(自民党・信頼)

決算年度を一言で言うと、市のコンプライアンスが問われる一年であった。数々の事務上のミスが発覚し、対応も遅れた。会計処理の方針が決められないまま継続審査となったことは、議案提出の姿勢そのものが問われる。法的整理のために本来業務に支障を来せば、大きな損失である。関係部署と適切な連携がなされるよう、トップからも指示を出すべきであった。今後は、コンプライアンスの推進、また万一問題が生じた際の対応についても見直すべきである。

### 反対討論(要旨)

宮下 誠(公明党)

平成30年度は、西岡市長の政治姿勢を象徴する年度であった

と言える。まず、職員の勤勉手当の増額予算について、提案・削除・復活提案と続き、その分かりにくい財政運営は市民を欺く結果となった。また、社会福祉委員への報酬誤支給問題では、脆弱な内部統制の実態が発覚した。さらに、市長就任年度で、59億円だった人件費は年々増大し続け、今年度予算で63億7千万円を組む事態に陥っている。まさに、人件費の増大を顧みない放漫経営であった。

### 反対討論(要旨)

水上洋志(日本共産党)

反対の理由の第一は、市民生活に冷たい決算であるからである。第二に、多額の繰越金の一方、市民犠牲の行革が行われ、結論ありきの進め方であるからである。第三に、大型開発優先の税金の使い方になっているからである。第四に、学務課職員の会計事務処理問題は、解決のための法的整理がつかず継続審査となる事態となり、市長自身の法令遵守の責任が問われているからである。第五に、無責任な公約を掲げた市長の責任が厳しく問われるからである。

### 反対討論(要旨)

田頭祐子(生活者ネット)

職員による学校の光熱水費などの立替払があり、誰も気付かずその金額は決算書に載らなかつた。このような不完全な決算は当然認定できない。この不適切な会計事務処理は、不適切な職員配置に端を発していたと考えられる。職員の能力をいかすため、年度途中での配置換えもタブーとしない適材適所の配置と、ヘルプを出せる風通しの良い職場

環境が必要である。不適切な事務執行や会計処理のミスは、市民の行政への信頼を損なう。緊張感ある事務執行を求める。

## 令和元年度一般会計 補正予算(第7回)

11月27日の本会議において予算特別委員会(遠藤百合子委員長)に付託し、同日の委員会では審査を行いました。

補正予算の主な内容は、学校管理費における不適切な会計事務処理問題において、当該元職員が私費で支払った費用の請求に応じるための、事務管理に係る返還金(光熱水費及び電話料)を含む「教育委員会事務局事務に要する経費」(92万7千円)を計上するものです。

### 反対討論(要旨)

たゆ久貴(日本共産党)

日本共産党小金井市議団は、学校管理費の不適切な会計事務処理における私費払された水道料金について、当該元職員の意思を尊重し、返還請求があれば、市が返還することは妥当なことと考える。そして、その方法は、しっかりと法的根拠を持つたやり方で行うべきである。しかし、市は他に考え得る様々な方法の検証を行っておらず、法的根拠が明確に示せていない。したがって、継続審査が必要であり、賛成はできないため、反対する。

### 反対討論(要旨)

渡辺大三(情報公開)

この問題において市が行うべきことは、水道局や電話会社に對して、自ら債務を弁済する方針を講じることであった。しかし、その努力の痕跡は全く見受

けられない。当該元職員が水道局や電話会社の費用の返還を求めるのは、証拠書類を自ら廃棄したため、難しいのではないかと、これは自業自得である。そこで、市当局が、状況証拠のみで当該元職員に対して支払うスキームを構築したのではないかと、市当局と当該元職員の「なれ合い」が感じられる。

## 都市計画道路小金井3・4・1号線及び3・4・11号線の計画及び概略設計に関する陳情書

### 賛成討論(要旨)

板倉真也(日本共産党)

現行の都市計画マスタープランは、前市政時代に策定されたものである。その後新たな市長が誕生したのであれば、自らの政策意思に従って、計画の見直しを行うことは当然で、あり得るものである。しかし、前市政時代に策定された計画に寄り掛かり、その計画の範囲内で物事を考えていく。これが西岡市長のスタンスとなっている。日本共産党小金井市議団は、小金井市の貴重な自然環境と生態系を守り抜くために全力で奮闘する。よって賛成する。

## 天皇陛下御即位奉祝「賀詞」決議に関する陳情書

### 反対討論(要旨)

鈴木成夫(みらい)

小金井市は、終戦直後に上皇陛下がお暮らしになり、皇室とは深いご縁がある。ご即位をお祝いする気持ちは多くの市民と変わらない。しかし、市議会が陛下に関する内容を取り扱う場合は全会一致が望ましく、異論が出てしまう状況は陛下に失礼と考える。第3回定例会で提案

されようとした同様の決議は、提案会派以外から疑義が出され取り下げられた経過もあった。祝意は個人的問題であり、多様な価値観を持つ市民の付託を受けた市議会が賀詞を贈ることはなじまない。

### 反対討論(要旨)

坂井えつ子(緑・つながる)

天皇のご即位について、市民にも議員にもお祝いの気持ちを持たせたい一方、信教や思想等の理由で、淡々と受け止めていく方、あるいは抵抗感のある方もいる。天皇のご即位に対するお祝いについて、それぞれの気持ちや立場は尊重されるべきであり、憲法19条の「思想及び良心の自由」にも関わると考える。多様な市民の信託を受けた多様な議員がいる市議会が、賀詞決議をあげることは適切ではないと考えていることから、本陳情に反対する。

市議会の情報を  
ツイッターで発信します  
左記のQRコードから、小金井市議会のツイッターにアクセスできますので、ぜひご覧ください。



議員提出議案をホームページで公開します  
令和元年第4回定例会から、議員提出議案(条例、意見書、決議等)の市議会ホームページでの公開を開始しました。パソコンやスマートフォン等でご覧いただけます。

## 引き続き審査する案件

### 厚生文教委員会

1月14日(火)午前10時

▶小金井市子どもの権利に関する条例の一部を改正する条例 ▶(仮称)スポーツ振興審議会の設置を求める陳情書 ▶スポーツ関連3施設に設置されている自販機の収益の公平な分配を求める陳情書 ▶(公財)小金井市体育協会理事による不正受給金返還の確認を求める陳情書 ▶福祉的視点から、母子・父子自立支援員(兼婦人相談員)体制の充実と、非常勤化体制の検証を求める陳情書 ▶小金井市保健福祉総合計画に関する諸問題の調査 ▶子ども施策に関する諸問題の調査 ▶社会教育施策に関する諸問題の調査

### 議会運営委員会

1月29日(水)午前10時

2月14日(金)午後2時

▶小金井市議会議員定数条例の一部を改正する条例 ▶議員定数に関する公聴会の議論を踏まえ小

金井市議会は市民意思の代弁者が判定者かまず明らかにしていただくこと等を求める陳情書 ▶議会改革に関する諸問題の調査 ▶①次期定例会(臨時会を含む。)の会期及び会議日割等、議会運営に関する調査、②議会の会議規則、委員会条例等に関する調査、③議会運営に関する議長の諮問事項について

### 総務企画委員会

2月3日(月)午前10時

▶公文書管理条例の制定を求める陳情書 ▶自動車等の「武蔵野ナンバー」及び「デザインナンバー」導入に向けた検討を求める陳情書 ▶財務会計ルールの全庁的な見直しと不祥事等非違行為があった際の危機管理の在り方の改善を求める陳情書 ▶東小金井駅北口まちづくり事業用地の活用に向けて整備基金の創設を求める陳情書 ▶次世代を生きる市民の為の「行政サービスのあり方」についての陳情書 ▶平成29年市議会議員選挙で、立候補者が市の指定管理である施設の名簿

選挙活用した事が法令に照らし適正だったかの検証陳情書 ▶都選管の収支報告書に記載されている寄附の事実解明を求める訴え陳情書 ▶小金井市公共施設等総合管理計画の進捗状況と方針についての諸問題の調査 ▶地域防災、減災及び被災者支援についての諸問題の調査

### 行財政改革推進調査特別委員会

2月12日(水)午前10時

▶行財政改革のさらなる推進に向けて、事務事業評価シートの速やかな作成を求める陳情書 ▶行財政改革の推進に係る諸問題の調査

### 建設環境委員会

▶駅周辺整備に関する調査 ▶市内都市計画、自然環境及び住環境に関する調査 ▶資源循環社会形成に関する調査

### 庁舎及び福祉会館建設等調査特別委員会

▶庁舎及び福祉会館建設等に係る諸問題の調査

各案件に対する討論の原稿は、議員が作成しています。